



炉端の会  
2018.09

# 「炉端の会」のひとり言-1

## ◇環境整備チーム、「大麦の種蒔き～脱穀」の様子

環境整備チームが昨年11月上旬に江向家と北村家の畑に蒔いた大麦は順調に成長し、5月下旬には無事、麦秋を迎えました。そこで、6月初旬に刈り入れを行い、刈り入れた大麦は江向家の裏にある資材置場の軒下で乾燥させました。刈り入れから2カ月近くたった7月24日、環境整備チームの手で脱穀を行いました。

脱穀の日は連日の猛暑が続いていたため、江向家のニワ(土間:屋内)で手揉みにより、茎から実を取り外しました。茎から分離した実にはゴミも混ざっているため、炎天下の江向家横で、見よう見まねで箕に入れた大麦を空中に放り上げ、実とゴミを分離しました。この後、9月に焙煎して麦茶を作る予定です。



(3月頃の様子)



(5月初旬の様子)



(5月下旬、麦秋)



(6月～7月、乾燥)



(7月下旬、手揉みで脱穀)



(箕でゴミを除く)





